

1 調査日 平成22年11月26日（金）

2 調査の概要

(1) 滋賀県立大学（彦根市）

滋賀県立大学は、平成18年4月1日に地方独立行政法人化され、平成24年3月末日を期限とする中期目標と中期計画をそれぞれ策定している。

中期目標では、「キャンパスは琵琶湖、テキストは人間」をモットーに、滋賀の豊かな自然の中で「環境と人間」をキーワードとした教育研究を推進する、少子高齢化、国際化、情報化の進展により、今後に求められる

高等教育の多様化に対応して、学部や大学院を整備充実し、優れた人材を養成する機能を拡充する、公立大学として、地域の生涯学習の拠点および地域貢献、産学連携、国際貢献等の社会貢献機能の強化を目指す、の3点を基本的な目標としている。

その上で、年度計画において記載事項ごとに実施する4段階の自己評価と別途設置される評価委員会の評価結果を踏まえて、PDCAサイクルにより学校を運営している。

今回、公立大学法人化5年目を迎えた県立大学の運営状況について調査を行った。



(2) 近江兄弟社学園（近江八幡市）

近江兄弟社学園は、建学の精神として「イエス・キリストを模範とする人間教育」を掲げ、宗教教育の柱として「いのちの教育」「平和教育」「環境教育」を挙げている。

特に、幼稚園と保育園と学童保育所などを統括する「こどもセンター」や高等学校の「単位制課程」、大学や地域と連携した「連携教育」および「国際人教育」の取り組みに力を入れている。

滋賀県の私立学校振興補助金の助成を受ける近江兄弟社学園の運営状況および施設の概要について調査を行った。

